



当市における小中学生のスマートフォン利用の実態と弊害について

無会派  
三宅 紀昭



# えびな未来創造プラン2020 について

政進会 宇田川 希



## 海老名市の未来像について

公明党 戸澤 幸雄

**問** 共稼ぎ夫婦の増加や青少年への犯罪増加にみられる社会情勢の変化などにより、中小学生へのスマートフォン普及が年々拡大する一方、メリット、デメリットがあり、さまざまな問題が発生していると考えます。街中では当たり前に歩きながらのスマホ操作、自転車に乗りながらのスマホ操作など、危険な運転が目撃されることがあります。また、スマホによる迷惑電話による迷惑行為も問題視されています。

ホ操作・片手でペリーかーを押しながらスマホを操作するお母さんを見かけることがあります。本当に恐ろしいです。子どものお手本となるべき大人がこのようなスマートフォンの使い方をしていては、子どもへの影響がとても危惧されるところです。そこで①教育部が把握する市内小中学生のスマートフォン使用実態と普及②学校として児童生徒が家庭内や日常の中でスマートフォンを使う場合のマナーの話や指導的な教育をしているのかについて伺います。

率が年々増加するに伴い、マナー・モラル面でのトラブルも増えているのが現状で、スマートフォンの使用についても学校でも指導しています。使う際の約束などは保護者の判断になりますが、家庭と連携を図りながら、子どもたちが安全に効果的に使用できるよう支援していきます。

**問** 改定を進めていたる公共施設再編（適正化）計画に、現在の本市の実態をどう反映するのか認識を伺います。

**答** （財務部長）：近年の建設資材や労務費の高騰などを加味すると将来的な維持管理に対する財政負担への影響は免れないと考えており、老朽化が進んでいる既存の公共施設の適正規模および再配置の検討は必要であると考えております。

・子ども

- 子どものマスク着用問題、子どもへの新型コロナワクチン接種の問題に



問 令和2年度から10年間にわたる、本市の新たな総合計画である「えびな未来創造プラン2020」で示された人口推計を上回る勢いで人口が増え続けていますが、将来の人口推計についてはどうのように捉えているのか伺います。

は人□推計を上回り、目標人□に近い数値で推移するなど、う大変望ましい状況となっています。しかしながら、人口増の局面にある本市においても将来的に人口減少に転じることとは避けて通れません。そのため、将来を見据えた行財政運営に今から取り組む必要があるものと認識しています。

**問** 人口増加は、税収にも好影響をもたらすと認識していますが、実態はどのような状況にあるのか伺います。

**答** (財務部長) 税収は人口の増減によって大きく影響を受け、人口が増加し続けている当市は税収も増加していく。いつから毎年人口が伸びる開き(約三ヵ月)成長三ヵ月

すいわゆる海老名駅西口のまち開きの前年の平成20年周と、令和4年度を比較すると個人市民税は12億6900万円、約15%の増、固定資産税は20億3千万円、約19%の増となっています。

**答** 已定を進めていた公共が言上級（近江）言回りに在の本市の実態をどう反映するのか認識を伺います。

の適正規模および再配置の検討は必要であると考えております。

その他質問



その他の質問

- ## ・子育て支援について ・教育環境について

ないことから動向などを見極め、検討をして

第1期における基本目標ごとの達成状況は全体で66・7%となつておりますが、このような結果からも一定の成果が得られたものと認識しています。第2期では、4つの基本目標に加え「多様な人材の活躍を推進する」「新しい時代の流れを力にする」といった、横断的な2つの目標を新たに掲げております。計画開始から現在まで、人口は増加曲線を描いており、これは将来を見据え、取り組んできた各種施策による成果と認識しています。

**答** **(財務部次長)** 本市のかかやき持続総合戦略は、長期的な人口減少に向けた対策を継続的に行うため、基本目標として「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「まちのかがやきを持続する拠点性を高める」「元気な産業活動を支えるまちの基盤づくり」「まちの魅力向上とシティプロモーションの推進」の4つを掲げ各種施策に取り組んでまいります。

えびな市議会だより 令和4年8月1日